気象庁
Japan Meteorological Agency

報　道　発　表

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和８年 11 月４日
地　震　火　山　部

# 雌阿寒岳の噴火警戒レベルを１へ引下げ

本日（４日）10 時 00 分に雌阿寒岳の噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）に引き下げました。

雌阿寒岳のポンマチネシリ火口付近では、昨年（2025 年）９月 11 日から火山性地震の増加や傾斜変動を伴う火山性微動の発生、熱活動の活発化等が認められたことから、同月 15 日に噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）に引き上げました。

2025 年９月、10 月及び本年（2026 年）３月にごく小規模な噴火が発生して以降、噴火は観測されていません。また、５月以降火口付近浅部の膨張によると考えられる傾斜変動は認められなくなり、噴気活動には緩やかな衰退傾向が認められています。地震活動についても、時折活発化がみられていましたが、10 月以降は低調に推移しています。

これらのことから、ポンマチネシリ火口から約 500ｍの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、本日（４日）10 時 00 分に噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。

活火山であることから、火口内に影響する程度の噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に注意してください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課　安藤、飯野
電話　03-6758-3900（内線　5184、5211）